

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
1	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内4ルート（東線、東線2、南線、西線）に分け月曜日から金曜日まで、1日4便から6便の運行経費から運賃収入を引いた金額に対する予算の範囲内での補助金の支出。 ②土、日の運行、定時性の確保、増便の要望がある。	20,149	20,182	7拡充	①現在、コスト的には低いと考えるが、高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠である。 ②コミュニティバス運行業者をプロポーザルで決定し、土、日曜日の運行、1日の運行本数の増便、定時性の確保、路線の拡張等を盛り込んだ運行計画を実施する。	37,778
2	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	北総鉄道耐震化助成事業	都市計画課	○	○	①首都直下地震等の大規模地震に備えるとともに、北総鉄道を利用する市民及び鉄道施設付近に居住する市民等の安全を確保するため、国、県、沿線6市と協調し事業費を助成するもの。 ②平成27年度から29年度の3年で完成させる。	0	17,282	6精査・検証	①首都圏直下型地震は、30年以内に70%程度の確率で起こると想定されており、対策を進めておく必要がある。 ②高架橋柱補強504本、落橋防止13.5連	23,321
3	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。 ②踏切により交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	613,444	382,256	7拡充	①市民から早期完成が求められているため。 ②事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。	773,846